

低コストモデル実証団地の概要等

実証団地の概要

- ・面積: 10.58ha
- ・前生樹: ヒノキ
- ・傾斜: 緩
- ・方位: 北西
- ・標高: 約500m
- ・地位等級: 13等級
- ・土性: 葡行土

実証団地の特徴

- ①交通アクセス 人吉ICより15km(約40分)
- ②事業地まで舗装済。中型バス可。駐車場有。
- ③その他次代検定林、コウヨウザン試植箇所等も併設。
様々な試験区としてだけでなく、団地化することで民国含めた**各種の研修や視察箇所**としてのフィールドの付加価値も併せ持つように計画。

主な苗木

スギ中苗



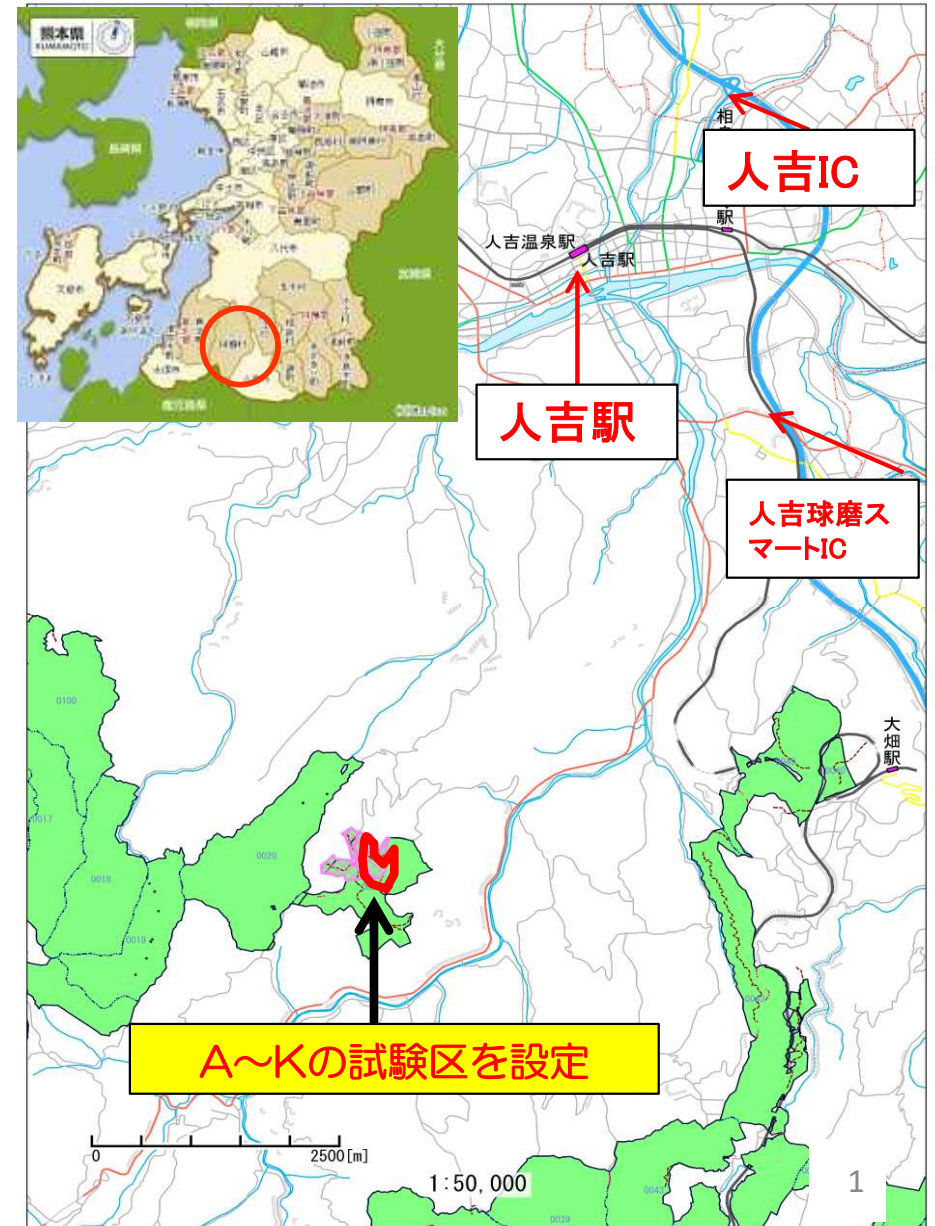
スギ新品種



コウヨウザン等



熊本県人吉市上永野町
西浦国有林21ろ林小班(熊本南部森林管理署管内)



低コストモデル実証団地（次世代造林プロジェクト）

持続的な森林経営が期待される人工林にあつては、公益的機能の発揮及び資源の確実な造成を図る観点から、伐採後の再造林を確実に行う必要があり造林コストの低減等が課題
民有林への普及を念頭に、林業の低コスト化等に関する先駆的手法を積極的に導入するとともに、国有林野の管理経営や民有林において、低コストで高効率な施業が普及・定着するよう取り組むことが必要

実証団地の設定

関係機関（森林総研九州支所、九州育種場、宮崎大学）と連携し、平成29年度に低コストモデル実証団地（次世代造林プロジェクト）を設置

実施内容

実証課題毎にゾーンを設定し、特定母樹中苗の植栽や、単木保護資材の活用、下刈方法の改善効果を検証
更に優良品種及び低密度の植栽、天然力を活用した更新、早生樹を植栽するなど、森林整備のコストを抑える各種課題に取り組んでいる。

試験地のイメージ

